

# 福井県立丸岡高等学校

## ESS部

高校生ボランティア・アワード2021

### 活動①『称念寺』紹介動画英語版の制作

- 1月 新プロジェクトのために計画立案  
大河ドラマ「麒麟がくる」で主人公だった明智光秀のゆかりの地として称念寺の外国人観光客に向けた英語版ガイド映像を作成  
→日本語のパンフレットはあったが英語版のものがなかったから  
→日本独特の文化を理解し、自国と異なる文化を認めてもらう  
→丸岡の歴史の素晴らしさを外国人観光客に伝えたい
- 2月 活動開始  
称念寺の英語版紹介ムービーを作ることを決定  
学校や私物の機材を揃えて称念寺で撮影  
ムービー編集開始
- 3月 ムービー編集終了  
ナレーション付け&映像確認
- 4月 ムービー調整
- 5月 ムービー完成、住職に再取材、手直し
- 6月 市役所で完成品を披露&意見収集、手直して完成



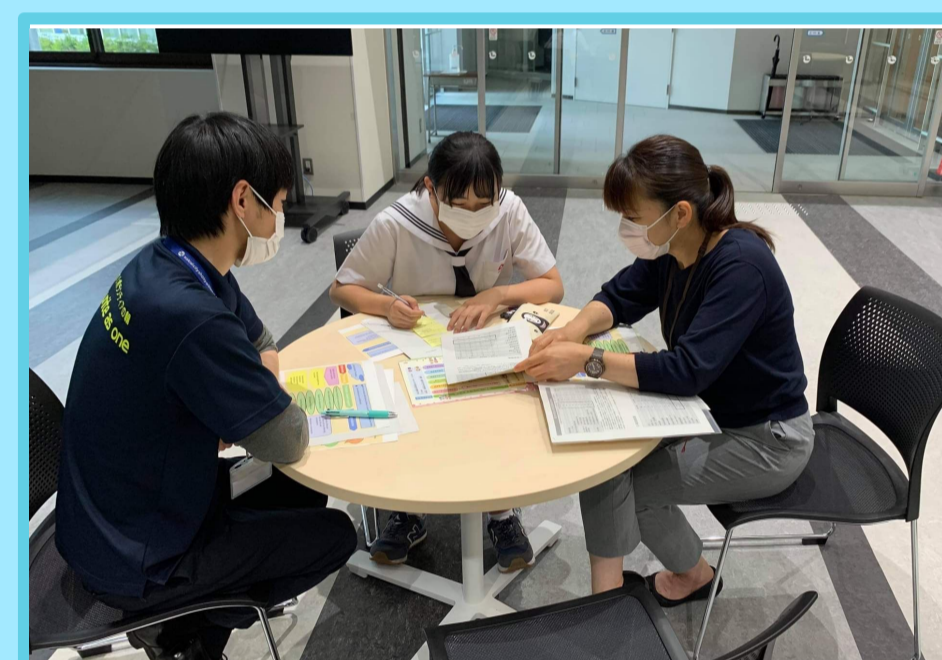
動画撮影の様子です。ALTの先生に出演していただきました。



完成動画の視聴、チェック中。



まちづくり協議会の方に、動画の監修をしていただきました。



坂井市市民福祉課の方に、パンフレットを渡しました。

### 活動②「福祉サービス情報英語版パンフレット」の作製

丸岡町に外国人が増えてきているので…  
・自分と異なる国籍の人を認める (多文化共生・異文化理解・Inclusive Town)  
・日本での生活に苦勞を感じている外国人を支援したいと考えていた

- 5月 社会福祉協議会の丸岡支部・坂井支部から既存 (日本語) のパンフレットを頂き、福祉関係の英語表記パンフレットを作製
- 6月 社会福祉協議会の方に完成品を披露&意見収集、手直して完成  
地域の市民福祉課の窓口に備え付けていただいた

→心配や困りごとがある外国人が福祉総合相談室に気軽に相談できるように!!  
→相談のプロセスや悩み事例、相談窓口の住所や連絡先を英語で記載し悩み事を抱えている外国人がいつでも相談できるようにした

### 活動の目的・志

## “Inclusive Town”

・外国人が気軽に観光を楽しめる街にしたい

例えば

- ・目的地を分かりやすく伝える  
→昨年度「丸岡食べ歩きマップ」英語版を作成
- ・文化を英語で伝え、より理解を深める  
→昨年度「英語版メニュー」の作成  
→本年度「称念寺の紹介動画英語版」制作

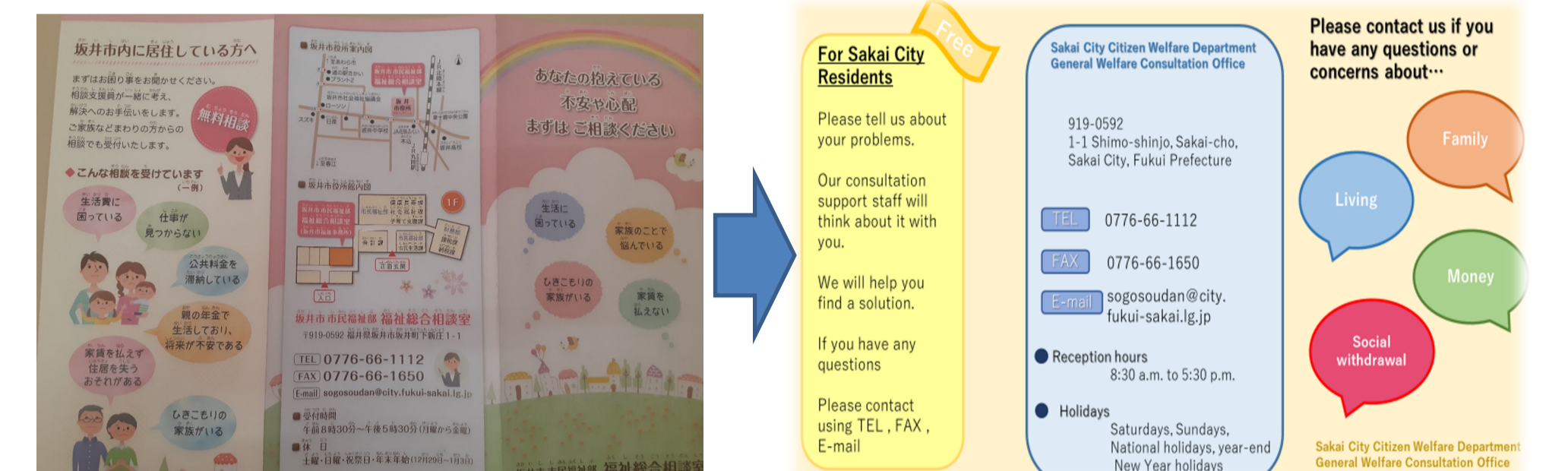
・自分たちの街を自分たちで明るくしたい

1. こんな街にしたい

- ・歴史を観光の財源にして称念寺や丸岡城など由緒あるものを身近に感じてもらう魅力ある街にしたい
- ・地域の方だけでなくより多くの人に魅力を感じてもらえる街づくり

・私たち高校生ができる地域貢献をして外国人の役に立ちたい

- ・日本での生活に苦勞を感じている外国人をサポートしたい
- ・多文化共生、異文化理解を目指す  
→今年度「社会福祉協議会の英語版パンフレット」作成

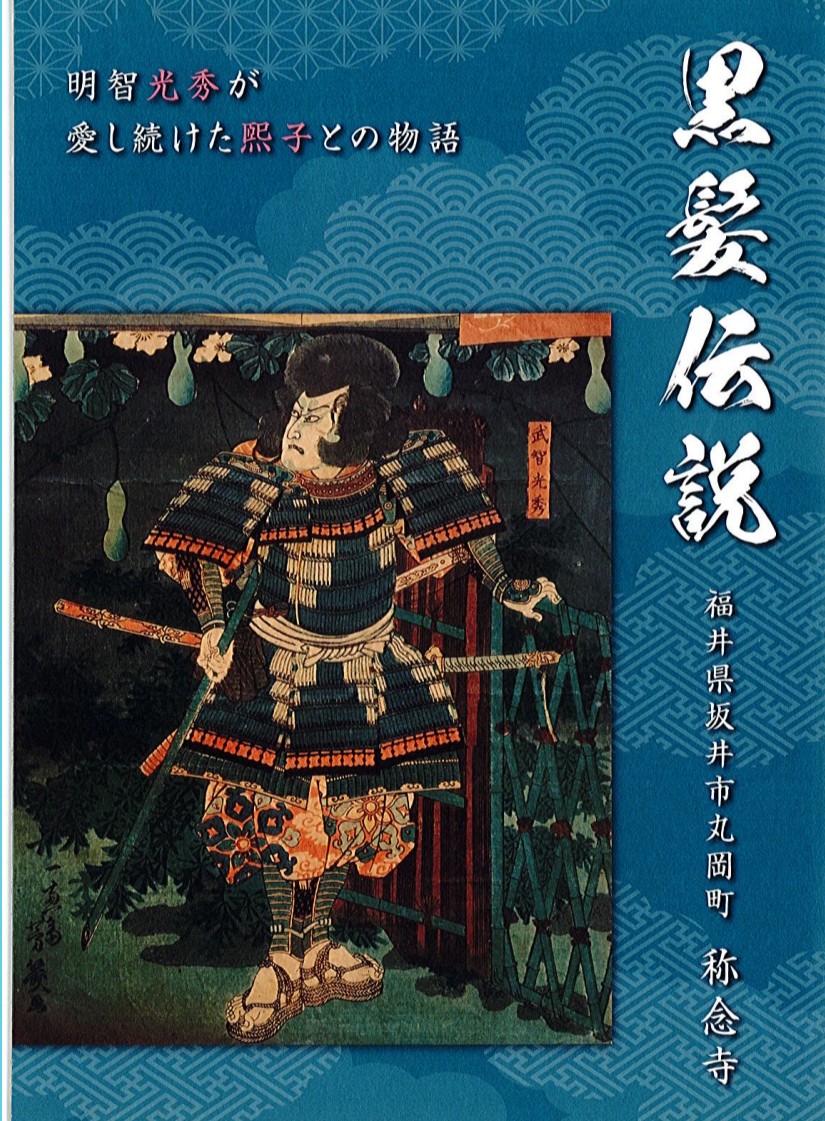


福祉サービス情報パンフレット日本語版の一部です。

分かりやすさを第一に、英語版パンフレットを作りました。

### 「観光案内」から始まる「地域活性化」へ

### 地域の財産「称念寺」の歴史を世界へ発信



「黒髪伝説」によると、明智光秀の妻 照子が、自分の黒髪を売って費用を工面し、光秀の出世を支えたとわれています。  
その物語にちなんで、江戸時代に松尾芭蕉が詠んだ俳句が称念寺の石碑に刻まれています。

↓これは称念寺の正面門です。明智光秀は門前に寺子屋を建て、家族とともに10年過ごしました。



光秀はこの地で妻照子と仲睦まじく暮らしていました。

弘治二年(一五五六年)頃白山を望む称念寺門前は水陸の要衝地として人々は行き交い



↑これは称念寺の本堂の中です。中央には新田義貞の像が祀られています。

↓これは新田義貞のお墓です。新田義貞は称念寺の住職と古くから交友があり、その遺骸は手厚く葬られました。



### 「多文化共生」"wellbeing" 今後の展望・夢など

～今回心がけたこと～

- ①「ターゲットの設定」(「紹介動画」, 「福祉情報パンフレット」共通)
  - ・誰に向けてビデオやパンフレットを作るのか、必要な情報は何か、を考えることに時間をかけた。
  - ・情報量を整理して、「分かりやすさ」を重視した。
- ②「ことばの翻訳=異文化理解と自国文化の理解」(「紹介動画」, 「福祉情報パンフレット」共通)
  - ・日本独特の文化を、自分が理解し、文化のとらえ直しをしてから、英語に翻訳した。
- ③「映像の工夫」(「紹介動画」)
  - ・若い世代にも日本の歴史に興味を持ってもらえるよう、BGMを工夫した。
  - ・外国人観光客の目線で楽しんでもらえるよう、外国人の方に出演を依頼した。
  - ・動画と画像を効果的に取り入れた。

～今後の課題・展望～

- ①少ない情報は、メリットでもあり、デメリットでもある  
→観光地の情報不足をこれからどのように補うか、別の情報源に誘導する仕掛けが必要。
- ②ユニバーサルデザイン
  - ・まちづくり協議会より、「視覚、聴覚だけでも分かるようなものを」という助言をいただいた。今回は外国人観光客をターゲットにしたが、住んでいる場所、性別、人種、障がいの有無に関係なく、誰にでも楽しんでもらえるよう、英語字幕版、日本語字幕版など、工夫したい。
  - ・社会福祉協議会より、「英語を母国語としない外国人にも分かるものを」という助言をいただいた。英語版パンフレットだけでなく、「やさしい日本語版」製作など、利用者目線の活動をしたい。
- ③称念寺の動画を福井県内の観光地に置いていただき、称念寺にも来てもらえるよう「情報発信」をする。
  - ・地域のまちづくり協議会と連携し、動画のリンク先を見つける。
  - ・市役所のホームページや、地域の他の観光地でも映像を流してもらえるように交渉して、丸岡にも足を運んでもらえるようにしたい。



### 活動団体プロフィール

丸岡高等学校ESS部は、国内外の人たちとのつながりを大切に活動しています。地域の飲食店や観光地の英語版メニューやパンフレット、英語紹介動画を制作して地域にお届けすることで、地域のいろんな方々と交流しています。普段は、日常生活や世の中で話題になっているテーマについて英語で意見交換したり、本校のパートナーシップ校である台湾の福誠高校生と交流したりすることで、視野を広げつつ英語能力の向上に努めています。

◎昨年度の大会参加:

- 高校生ボランティア・アワード2020参加
- グローバルハイスクールミーティング2021銀賞受賞
- 高校生英語ディベート大会福井県大会出場